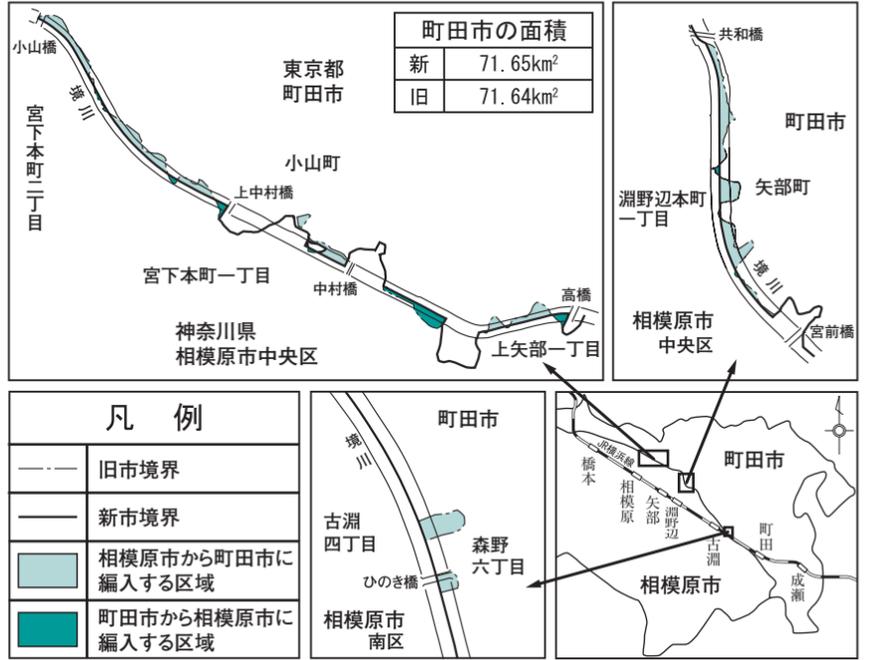


町田市・相模原市の境界を一部変更

12月1日から、町田市と相模原市の境界を一部変更しました。

この変更は、境川の改修により市の境界が入り組み、日常生活や土地利用に不都合が生じている方の要望に応えるためのものです。変更する区域は、森野六丁目の一部と、小山町付近の約1・6kmの区



間です(右図参照)。今回の変更で、町田市の面積は約1万3700平方メートル増加し、71・65平方キロメートルとなります。

凡例
--- 旧市境界
— 新市境界
相模原市から町田市に編入する区域
町田市から相模原市に編入する区域

マイボトルを使うと、ごみを削減し環境にやさしく、家計の節約にもつながります。また、こまめな水分補給は、喉の乾燥等を防ぎます。

マイボトルを持ち歩きましょう

ご利用下さい「マイボトルOK店」

マイボトルを使うと、ごみを削減し環境にやさしく、家計の節約にもつながります。また、こまめな水分補給は、喉の乾燥等を防ぎます。現在、市内に25店舗の「マイボトルOK店」があります。



マイボトルで持ち帰りができる「マイボトルOK店」一覧表

店舗名	コーヒー・紅茶等の有料提供(割引等の店舗有り)	水・お湯等の無料提供
上島珈琲店町田店(原町田)	○	○
カフェ サニーブーニー(玉川学園)	○	○
カフェ レディ・デイ(中町)	○	○(注)
ゴスペル・カフェ(玉川学園) ※店舗専用タンブラーを利用された方のみ利用可	○	—
老舗ひじかた園(原町田)	○	○
スターバックスコーヒー 町田金森店(金森)、多摩境店(小山ヶ丘)、鶴川店(能ヶ谷)、ぼっぼ町田店(原町田)、南町田グランベリーモール店(鶴間)、町田東急ツインズ店(原町田)、町田パリオ店(森野)	○	—
玉川珈琲倶楽部(玉川学園)	○	○
タリーズコーヒー小田急マルシェ町田店(原町田)	○	—
ダーリントンホール 町田市役所店(市役所本庁舎1階)	○	○(注)
ドトールコーヒーショップ 町田駅前店(原町田)、町田幸町通り店(原町田)、町田中町店(中町)	○	—
ニューヨーカース・カフェ 町田店(森野)、町田中央通り店(原町田)	○	—
ピストロ シェリキ(町田ターミナルプラザ2階)	○	○(注)
町田市庁舎食堂(市役所本庁舎2階)	○	○(注)
レストラン タイム・たーべる(市民ホール1階)	—	○(注)
6889cafe(鶴間)	○	—
ロブチャーティーガーデン玉川学園店(玉川学園)	○	○

(注)お店を利用された方のみ提供

ご意見の募集結果 町田市土地利用に関する基本方針及び制度活用の方策(案) ご意見ありがとうございました

市では、「町田市土地利用に関する基本方針及び制度活用の方策」の策定にあたり、皆さんのご意見を公募しました。実施結果の概要は以下のとおりです。
貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。いただいたご意見は、本方針策定等の参考にさせていただきます。
○募集期間 2013年9月24日～10月23日
○応募者数 2人
○意見件数 11件
ご意見の概要と市の考え方を紹介します。詳細は町田市ホームページでご覧いただけます。また、資料を、都市政策課(市役所本庁舎8階)のほか、次の窓口でも配布します。
市政情報課・市民相談室(市役所本庁舎1階)、各市民センター、各駅前連絡所、木曾山崎・玉川学園の各コミュニティセンター、各市立図書館、町田市民文学館、生涯学習センター、男女平等推進センター(町田市民フォーラム3階)

ご意見の概要	市の考え方
町田駅周辺において、大規模店舗がマンションと商業施設併設の高層ビルに変わるのには、町田の魅力強化に対する方向性と違うと思う。実際に、大規模店舗が商業施設兼用の高層マンションになると聞くとところもある。また風俗系等の店舗ができないことを祈る。	「町田市土地利用に関する基本方針及び制度活用の方策(案)」では、町田駅周辺の中心市街地を町田市の魅力の一つと捉え、特に商業地域の中心部(原町田)では、賑わいある空間を維持・強化していく方針を立てています。また、この実現のため、「特別用途地区等の土地利用制度」を活用し、賑わいの形成と日照や通風等が確保される良好な住宅の誘導を検討しています。
行政当局は町田市の過疎化が急速に進んでいることに、今以上に敏感に強い危機意識を持つ必要がある。	市の地域単位で見ると、既に人口減少が進んでいる地域もあり、今後は生活を支える機能・サービス、地域活動の停滞や、住環境の質の低下、中心市街地の競争力の低下など、町田市全体の魅力・特性の喪失などが懸念されます。本方針では、それら都市づくりに関する中長期的な課題に適切に対応し、選ばれ続ける都市であるために、今後土地利用制度活用に向けた取り組みを進めてまいります。
「上位計画」実現のために土地利用を「住宅地」「商業・業務地」「工業地」と指定しているが、いずれも他市でやれることが多く、町田市の未来が見えない。「都心回帰」が急速に進んでいるため都心部の優位性は明白である。	

法務大臣表彰を受賞

人権擁護委員の宇那木邦子さん
10月21日、市内在住の人権擁護委員・宇那木邦子さんが法務大臣表彰を受賞しました。宇那木さんは、2000年から人権擁護委員として市民の人権相談を受け、人権思想の普及に多大な貢献をされました。その報告のため11月7日に市役所を訪れた宇那木さんは、「意義のある仕事をやらせていただいていると思います。これからも一生懸命やります。」と語られました。



11月7日に市役所を訪れた宇那木さん

市内バレーボールチーム「ドリー夢」が全国大会で優勝

11月10日に栃木県で開催された「全国家庭婦人バレーボールいそじ大会」で、東京都代表として出場した、町田市の選抜チーム「ドリー夢」が優勝しました。この大会は、50歳以上の家庭婦人で編成された9人制の選抜チームによる全国大会で、今大会には全国から64チームが出場しました。10月24日に全国大会出場のため市役所を訪れた「ドリー夢」の皆さん



10月24日に全国大会出場のため市役所を訪れた「ドリー夢」の皆さん

モノレール絵画コンクール 表彰式を行いました

市では、多摩都市モノレールの町田方面延伸実現の機運向上の取り組みとして「モノレールが走る未来のまちだ」をテーマとした、絵画コンクールを行いました。応募105作品の中から、市長賞や優秀賞など16作品が決まり、11月1日に市役所で表彰式を行いました。応募作品は今後の延伸PR活動に使用させていただきます。たくさんのご応募ありがとうございました。



作品の前で記念撮影する入賞者の皆さん